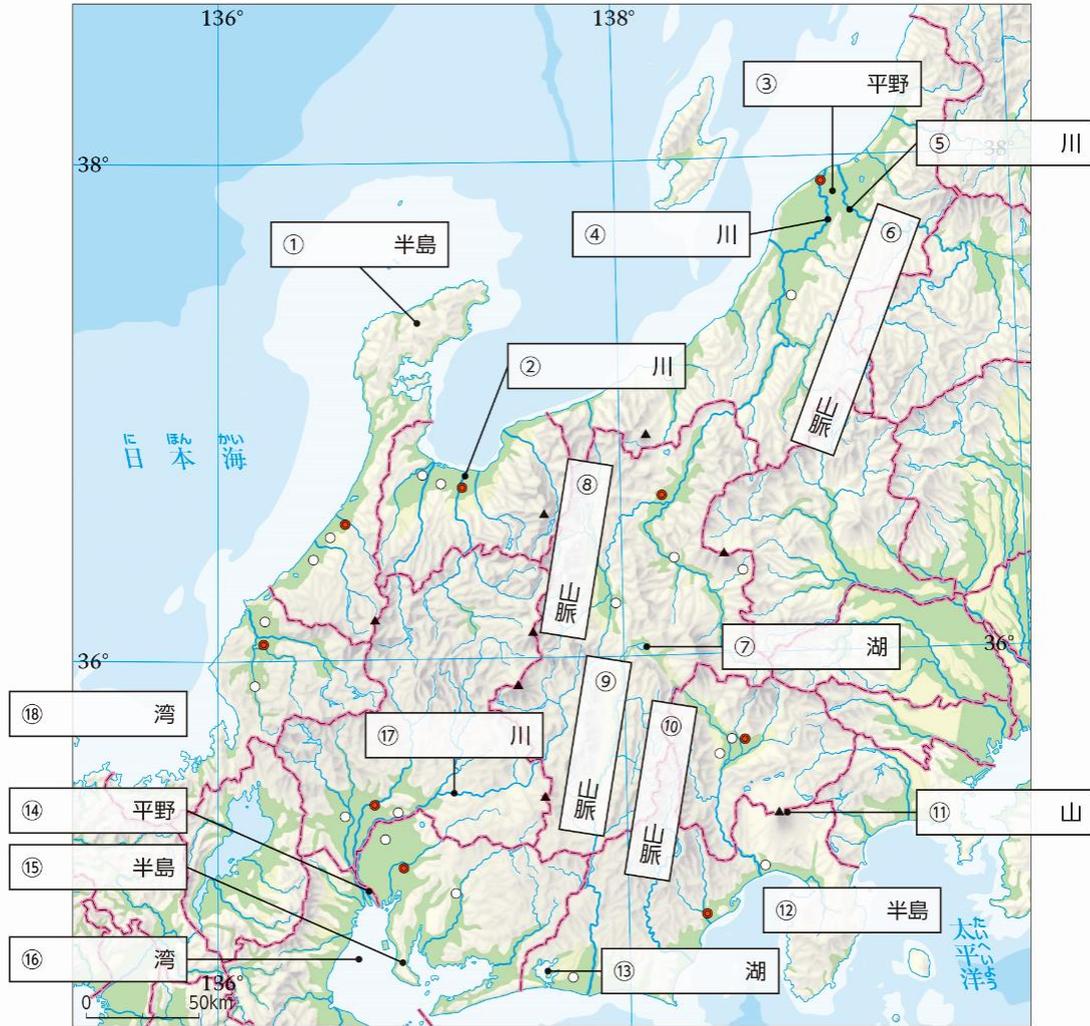


学習のまとめと表現

中部地方の学習を振り返って整理しよう

教科書対応ページ p.229(参照するページ p.218~227)

②地図を使って確かめよう。



①地図中の にあてはまる地名を書き入れよう。

①	能登半島	②	神通川	③	越後平野 ※(新潟平野, 蒲原平野)とも	④	信濃川
⑤	阿賀野川	⑥	越後山脈	⑦	諏訪湖	⑧	飛驒山脈
⑨	木曾山脈	⑩	赤石山脈	⑪	富士山	⑫	伊豆半島
⑬	浜名湖	⑭	濃尾平野	⑮	知多半島	⑯	伊勢湾
⑰	木曾川	⑱	若狭湾				

②中央高地の気候の特色について、218 ページの資料3にある三都市の気温と降水量のグラフ(静岡・しずおか 軽井沢・新潟)から、違いを比較して読み取ろう。

※(解答例)教科書 p.218,224 の記述などを振り返りながら。

(解答例)中央高地に位置する軽井沢は、太平洋側の静岡、日本海側の新潟と比べ、年間を通じて降水量が少なく、気温も低い(中央高地の山岳地帯では、多くの降雪がみられる)。

③220 ページの資料2「主な工業地帯・地域の生産額の割合」から、中京工業地帯の特色を説明しよう。

(解答例)日本の工業地帯・工業地域の中で、生産額が最も高く、特に機械工業の生産額の割合が70%近くと他と比較して非常に高い。

③表現しよう。

①【環境】かんきょう 温暖な気候を利用した東海地方の農業と、せんじょうち 扇状地や高原を利用した中央高地の農業は、それぞれどのように営まれているか、特色をまとめよう。

※(解答例)教科書 p.222-224 の本文の記述などを振り返りながら。

(解答例)東海地方では、温暖な気候を生かした生産性が高い先進的な農業経営がみられる。温室などの施設を利用したメロンや菊、トマト、みつばなどの園芸農業、静岡県では茶、みかんの栽培が盛んである。中央高地では、扇状地の水はけのよさを利用した果樹などの栽培、高原での夏の涼しさを利用したレタスやキャベツなどの高冷地野菜の栽培がみられる。これらは高速道路で結ばれた大都市圏へ向けて出荷されている。

②【歴史的背景】はいけい 北陸地方の伝統産業はどのような歴史的背景から現在に至ったか、いた 具体例をあげて説明しよう。

※(解答例)教科書 p.226 の本文の記述などを振り返りながら。

(解答例)九谷焼や加賀友禅は、加賀藩の保護と奨励によって生産が盛んとなり、現在でも伝統的工芸品として引き継がれている。また、小千谷縮は雪に閉ざされる長い冬の期間の農家の副業から、地場産業として発達した。後継者不足や海外との競争などの課題があるが、時代に合わせた商品開発に力を入れている。

掲載されている解答は、一つの例です。
自分の解答が正しいか気になった場合は、
先生に質問してみましょう。



まっぴんぐま

④意見^{こうかん}を交換しよう。

*中部地方の三地域について、関心のある産業を選んで、^{ぶんたん}分担して特色をまとめよう。また、それをもとに、「それぞれの産業に^{えいきょう}影響を及ぼしているもの」について意見^{およ}を交換しよう。

地方名	産業名 (産業の例)	産業の特色 (まとめの例)
東海	農業 (p.222-223 を参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・生産性が高く、先進的な農業経営 → <u>園芸農業</u>(温室メロン、電照栽培による菊など) <u>促成栽培</u>(トマト、みつばなど) …温暖な気候、施設の利用などで、出荷時期をずらすなどして高価な野菜・果物などを生産。
中央高地	観光業 (p.224-225 を参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>観光資源</u>が豊富 → 避暑地や観光資源(歴史的街並みなど) …明治時代以降：生糸輸送のため古くから<u>鉄道が開通</u>した。 …近年：都市と<u>高速道路</u>などでつながる。
北陸	工業 (p.226-227 を参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然条件を生かした工業 …<u>多雪地域=豊富な水資源</u>：発電，工業用水として利用。 *富山市：アルミニウム工業，化学工業，機械工業など *新潟県：石油採掘 → 金属・機械工業 *金沢市：繊維産業 → 機械工業 *福井県・石川県：織物工業 → 化学繊維